

福岡県上毛町議会が 南島原市を訪れました

平成28年7月27日に福岡県上毛町議会が委員長研修のため南島原市を訪れました。

研修メンバーは上毛町議会正副議長をはじめとした、各常任委員長3名、議会運営委員長、事務局職員2名でした。

研修事項は「雲仙普賢岳の災害を教訓とした街づくりについて」、「施設見学」でした。

研修ではまず、南島原市議会松永副議長の挨拶と上毛町議会安元議長の挨拶があり、その後、南島原市防災交通班が説明を行いました。

説明内容は噴火活動が



上毛町議会安元議長挨拶



上毛町議会委員長研修の様子

発生してから、終息、復興までの流れでしたが、上毛町議会の方々は特に噴火による被害、土石流の恐ろしさについて驚かされていました。また、説明後は松永副議長も参加して盛んな質疑応答が行われました。

その後の施設見学では、観光振興班が「土石流被災家屋保存公園」、「みずなし本陣」、「旧大野木場小学校」を案内しました。

南島原市議会議場がリニューアルしました (議場放送・映像設備改修工事)

平成28年7月8日〜8月30日に議場放送・映像設備改修工事が行われ、第3回定例会では新しい議場設備のもとで行われました。

画質と音質が向上した議会中継

この度の改修で画質と音声が向上しています。本市議会は地上デジタル放送が開始された後もアナログ放送の規格で議場放送を続けておりましたが、カメラをフルハイビジョンに変更することにより、鮮明な議場の様子



カメラ操作席

を伝えることができるようになりました。また、音声も音割れがあるとの指摘があつておりましたが、マイクとスピーカの交換によりこれが抑えられました。

放送用カメラも2台から3台へと増加し、より自由度の高いものとなったことで、様々なアングルでの撮影ができるほか、画面の切り替わりもスムーズとなり、より良い放送ができるようになりました。

質問席で緊張感のある一般質問

この度の改修では新しく質問席も設置されました。質問席とは一般質問の際に質問議員が利用する席です。これまでは一通りの質問をした後、議員は自席に戻り、再質問をしていましたが、これからは、一般質問の際は



質問席

常に質問席で質問を行うこととなります。議場の中心に位置し、より執行部との距離が近くなるため、緊張感のある質問、答弁が行われることが期待されます。



マイク



カメラ



スピーカ